

自分の命は自分で守る



1/23 (土) 弥四郎ホールにて学校運営協議会主催による「中牟田のつどい」が行われました。地域の見守りネットワークの方々をご招待し、日頃の活動に感謝すると共に、子どもたちに改めて安全・安心の意識を植え付けるための講習、講演が行われました。学校運営協議委員の田邊委員による「安全に関する講習」では、大内田先生と谷川先生による不審者から身を守るための実演。副委員長鈴木さんは、自らハンドルを握り、登下校中の子どもたちの様子をドライブレコーダーで録画して、どういった行動が危険かをドライバーの目線から子どもたちに現実感をもって注意、指導して頂きました。「自分の命は自分で守る」ことを子どもたち自身に教えることと、地域全体、大人たち全員で子どもたちを見守り育てる集いでした。



2/24 (水) 今年度最後の家庭教育学級が作法室で開催されました。今回は、中牟田小児童の保護者でもある福本恵美さん (JGA認定講師) を講師に招き、『ブルーデコストラップ』作りを体験しました。エポキシ系の粘着性のある色がついたパテ (ブルー) をネックレスやキーホルダーのベースにセットして、その上にバランスよくスワロフスキー (ビーズ) を配置して自分だけのオリジナルアクセサリを作りました。毎回、クラスや学年、地域を越えたお母さんたちの楽しい交流がみられ、こうした関係が中牟田小のPTAの土壌になっていっていることを嬉しく感じます。この日は、最後に閉級式が行われ、委員を務められた前田さん、大松さん、鈴木さんを労いました。



家庭教育学級

ブックレビュー 読む (親も家読)



『人間というもの』

司馬 遼太郎 著
PHP研究所

「竜馬がゆく」「坂上の雲」「翔ぶが如く」「梟の城」など、自身の作品の中からテーマにそっての格言、箴言を抜粋してまとめてあります。人としてのあり方、人間としての生き方が端的に言い表されていて、一言で納得させられてしまいます。司馬遼太郎ファンは勿論、本書をきっかけに原本を手にとって見るのもいいかも知れません。

1/2 成人式

4年生の子ども達が1/2成人式を迎えました。まだ、10年…。しかし、子どもたちは親の姿を見習い着実に成長し、将来の夢を描き始めています。「わたしたちの未来」と題し、ひとりひとりが自分の今の思いをステージ上で宣言している姿は、とても堂々としており、彼らの秘めた可能性を信じて共に更に応援せざる負えない気持ちになられたことと思います。子どもたちから感謝の言葉を述べられ、大人としての目標にされていることに気づき、改めてわが子の成長を感じられたことと思います。4年生の保護者の皆様、この度はおめでとうございます。



年度末PTA

2/23 (火) 年度末PTAが行われ、学校説明と学習参観、学級集会が開かれました。寒い一日でしたが、多くの保護者の方々に参加して頂き、どのクラスの授業も緊張と活気にあふれる授業でした。学級集会では、日頃のお子様のクラスでのご様子や取り組みを伺う良い機会となり、保護者と先生が協力、支え合いながら、より良い学級づくりが行えていたら、と思います。

PTAからの卒業



六年生の保護者の皆さま、お子様のご卒業おめでとうございます。(まだ、ご兄弟がいらっしゃる方もおられるでしょうが) この六年間、家事や育児、そしてお仕事も掛けながらPTA活動に携わって頂き、誠にありがとうございました。ご苦労をお掛けしたと思いますが、皆様が活動して下さったからこそ、今の中牟田小学校PTAがあります。その土壌で、これからも中牟田小の児童たちが健やかに育まれて行けるよう、私たちも協力し合いながら次に繋げて参りたいと思います。

無駄話 (無駄は必要悪か?)

毎日、お酒を飲みます。時々、グッタリと疲れるまで飲みます。翌日、「ああ、なんて無駄なことをしてしまっているんだろう…」と思う時もあります。ですが、無駄なことなど、私たちの人生においては一つありません。世の中、キチキチでは何事もスムーズに駆動しません。車のハンドルの遊びも10度ほど無ければ、常に急ハンドルを切ることになります。ボルトとネジの関係も、双方が完璧に同じサイズに削りだされていたら、締め込むことが出来ません。そこには、数ミクロンの遊びがあります。身近な所では、建具も同じ。キチキチでは開け閉めが大変です。靴もそうです。自分に合った靴は、自分の足のサイズより、ワンサイズ大きいもの。これら無駄とも思える遊び、余裕が私たちの日常を快適なものにします。会話の場合、それは「間」として大きな意味を持ちます。そして、それは心も同じ。余裕がない心は、ケースに収められていないナイフのよう…。傷つきやすくて傷つけやすい、自他ともに危険な存在。そんなデリケートな心を優しく包み込むために、今夜も僕は酒を飲む。無駄ではなく、必要な遊び。うーん、言い訳になっていない…。言い訳をする大人の姿ほどみっともないものはない。長い言い訳をするより、一言「ごめんなさい」と言った方が無駄はないのだが…。

